



FACE DUO

「介護について話せる社内風土に」

その第一歩としてのFACEDUO活用

この記事のポイント

京王電鉄は介護制度の整備に加え、社員が介護を自分ごととして捉え、行動につなげられる職場づくりに注力しています。FACEDUOを活用した体験型施策により、働き方が多様な環境でも理解と対話が広がりました。制度を整えるだけでなく、行動が生まれる健康経営の実践例となります。



京王電鉄株式会社
人事部 ダイバーシティ推進担当様
2025年健康経営優良法人認定取得企業

「制度があっても、使われなければ意味がない」

健康経営優良法人を取得している京王電鉄では、育児・介護休業法の改正を背景に、介護に関する制度整備を進めてきました。一方で人事部内では、「制度を整えるだけでは十分ではないのではないか」という問題意識がありました。社内アンケートでは、実際に介護をしている社員よりも、今後介護が始まることへの不安を抱える社員が多いことが分かっています。介護を理由とした働き盛り世代の離職は、企業にとって大きな損失です。そこで京王電鉄では、制度を知り、安心して使いながら働き続けられる環境づくりが重要だと考え、本取り組みを進めるに至りました。



「仕事と介護の両立ガイドブック」

介護制度について、社内ポータルサイトに情報が分散していました。そこで、内容を整理し、一冊にまとめた介護ガイドブックを新たに作成。イベントでは、このガイドブックの存在を知ってもらう目的もありました。



介護を理由に、働き盛りの人材を手放さないために

社内制度を整えていても、相談できずに離職を選んでしまう社員がいる。介護は、誰にでも突然訪れる可能性があります。京王電鉄では、「介護について話せる社内風土に」を目的に、体験型コンテンツを活用した取り組みを検討しました。多くの現業職場で勤務する社員を抱える同社では、勤務時間や休憩時間が人によって大きく異なります。そこで、短時間でもどこでも体験できるFACEDUO認知症ケア支援VRに着目。各拠点や本社の隙間時間で、幅広い世代の社員に体験いただきました。



Point



イベント実施前の 3つの課題

- 制度があっても知られていない
- 介護について相談しづらい
- 勤務形態により全体研修が難しい



課題解決の為
VRを取り入れたイベントを開催

現状・課題

Point



VR体験による 「介護の自分ごと化」

VR体験後、社員同士で
自然に介護についての対話が始まる。



各拠点でのイベント実施



Point



「どこでも・いつでも・個別にできる」

現業職場で勤務する社員の方にも空き
時間を利用して体験頂きました。



勤務時間が異なる社員が多く、
集合研修が難しい。

VRで個別研修にも対応。
業務特性上の課題を解決。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

解像度147dpi

1ヵ月の利用期間で
5つの拠点でご利用
を頂きました。



VR体験後、介護への関心が高まったところで「仕事と介護の両立ガイドブック」を紹介。



家族検定に挑戦。家族のことをどのくらい知っている？ 全30問。



VR体験の様子です。「VRなら試してみたい」という方も気軽に立ち寄り、多くの方が参加されました。状況に応じてスクリーンでの視聴も可能です。

本社でのイベント実施



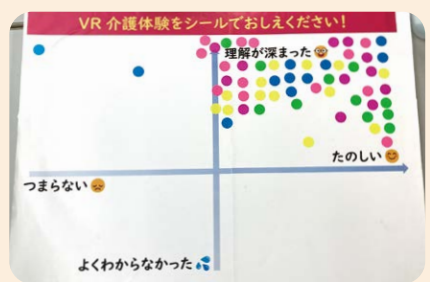
イベント実施後の変化



Point 「介護を話題にできる職場環境」へ

- 体験者の声**
- 職場で介護について話すきっかけになった。
 - まだ介護はしていないが将来に備えて知識を得られて良かった。

VRイベントを通じて、制度認知の向上、相談しやすい雰囲気づくり、そして現場の働き方に合った情報周知を実現できました。



イベント実施後のアンケート。多くの方に楽しみながら介護への理解を深めて頂きました。

イベント当日の様子

Check 約2分の動画です

京王電鉄の事例が示す、施策成功のポイント

制度を整えるだけでは、課題解決にはつながりません。京王電鉄では、体験を通じて内容を自分ごと化し、話しやすい職場風土をつくることで、現場社員を含めた幅広い層への制度周知を実現しました。FACEDUOは、勤務形態が多様な企業においても、**制度を「知る」だけで終わらず、「行動」へとつなげるための有効な取り組み**となります。ガイドブックを通じて、必要に応じた相談や受診といった次の行動を検討するきっかけにもなっています。

健康経営における課題解決にご活用いただけます

FACEDUOを活用した体験型のアプローチは、従業員への教育・啓発や職場内での対話を促し、介護と仕事の両立に向けた理解を深めるきっかけとなります。こうした取り組みは、健康経営度調査において重視される介護課題への理解促進や風土づくりに加え、介護離職防止に向けた雇用環境整備の考え方も、関連づけて位置づけられることがあります。

- ✔ 施策や方針はあるが、社員一人ひとりの納得感まで届いていない
- ✔ 健康・介護・多様性など、重要だが向き合い方に悩むテーマがある
- ✔ まずは意識づくりや共通理解を深め、組織全体の土台をつくりたい
- ✔ 勤務時間・働き方が多様で、取り組みを一律に届けることが難しい
- ✔ 集合研修だけでは、理解や主体的な行動につながりにくいと感じている



FACE DUO | 今回ご利用頂いたコンテンツ |

認知症ケア支援VR



認知症の方の症状・気持ちの理解と適切な接し方を学ぶ

家族会話練習場VR



VR体験を通じて、認知症を「自分ごと化」として捉え、家族と介護について話し合う

短期利用プラン

認知症・フレイル関連イベント・導入に向けたトライアル等に活用

- FACEDUOの全てのコンテンツが1か月利用*できるプランです。
- 豊富なコンテンツを1か月間制限なしでご利用頂けます。

99,000円/月(消費税込み、送料込み)

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!